

# 株主コミュニティ制度フォーラム 講演録

## 1. 主催者挨拶

日本証券業協会 副会長 森本 学

本日はお忙しいなか、本フォーラムにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

皆様ご存じの方も多いと思いますが、株主コミュニティ制度は非上場株式の取引・換金ニーズに応えることを目的として、2015年5月に創設された制度であります。本フォーラムでは、この株主コミュニティ制度を通じまして、新規・成長企業及び地域に根差した企業の株式に関するソリューションが提供されますとともに、そうしたビジネスが拡大することを目的として、開催することとしたものであります。

従来から、非上場株式の取引制度としてはグリーンシート銘柄制度がありましたが、近年では、取引所の新興市場との差別化が難しいものとなってきており、同制度における取引も低調に推移しております。そして、この制度に代わるものとして新たに登場したのが、株主コミュニティ制度であります。この制度のもとでは、発行会社の開示負担などが軽減されており、いわば敷居が低く、利用しやすい仕組みとして生まれ変わった制度であるということが言えると思います。また、政府では、成長戦略の一環として、地域活性化のために活用できるものとして期待されております。

この株主コミュニティ制度は柔軟性の高い制度であり、私どもとしましては、非上場株式の様々な取引ニーズに応えられるものだと考えております。現在は旧リージョナル銘柄をはじめとするグリーンシート銘柄から移行した銘柄が多いですが、そういう意味では、まだこの制度のポテンシャルが十分に発揮されたとは考えておりません。新たな企業群や新たな目的のためにこの制度が活用されることを、我々としては期待しております。

ところで、現在、証券業界では、国連の開発目標であるSDGs、Sustainable Development Goalsに積極的に取り組んでおります。このバッジがそのシンボルですが、その中には、起業、創造性及びイノベーションを支援することや、金融サービスを通じた中小零細企業の設立や成長を奨励することが目標に入っております。株主コミュニティ制度を通じて地域社会・経済へ貢献することは、このSDGsの趣旨にも合致するものであります。また、こうした共感を基盤とした参加型の投資活動を盛り上げることは、我が国における直接金融の活性化の一つの呼び水になり得ると考えております。

本日のフォーラムでは、これから講演や議論、パネルディスカッション等が行われますが、株主コミュニティ制度に関わる方々の知識や経験が参加者の皆様に共有され、この制度の利用拡大、ひいてはリスクマネーの供給促進が一層進むことを期待しております。最後に、本フォーラムの開催にあたりご協力いただきました皆様に、改めて感謝いたしますとともに、本フォーラムが皆様にとって有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。